

# 令和5年度予算編成方針

令和4年10月26日  
府中市長

本市を取り巻く社会情勢や厳しい財政状況を踏まえ、令和5年度予算は次の点を基本方針として編成する。

## 1 予算編成の基本方針

厳しい財政状況の中であっても、しあわせ府中2030プランで掲げた「選ばれるまち府中市」を実現するため、次に示す取組について全庁を挙げて推進するとともに、その財源を捻出するためにも行政経営プランに掲げた取組を着実に実行することにより、限られた経営資源を最大限に活用することを強く意識し、持続可能で質の高い行政サービスを提供していくこと。

### (1) 令和5年度政策の柱～ますます多様化する地域課題への政策的取組～

市民の安心と健康を支えるため、先行きが不透明な状況が続く原油価格・物価高騰、新型コロナウイルス感染症の状況に注視するとともに、人口減少、少子高齢化、地域コミュニティの機能保持・活性化をはじめとする課題など、まちの将来を長期的に見据えた施策を重点事業として推進する。

取組については、EBPM（証拠に基づく政策立案）の考え方にに基づき、効果の可視化が可能となるよう手段と目的の論理的なつながりを明確にし、成果目標（アウトカム）を設定すること。

なお、現在府中市が直面する特徴的課題として、次に掲げるものを令和5年度重点事業として位置付ける。

※重点事業については、政策協議の場において審議する。

#### ア 南北道路沿線

南北・東西に伸びる道路交通網（尾道松江線・山陽自動車道）を利用可能な地理的優位性を活かした企業誘致を検討すること。

そのために、土地利用に関する提供および誘致可能な企業の発掘にあたるチームを編成するなど、実現可能な体制整備についても検討すること。

#### イ 少子化

就業状況や結婚・出産・子育てに対する経済的負担感、子育てと仕事の両立のしにくさなど、様々で複雑な課題を明確にして、安心して子育てができるような対策を導き出すよう、横断的な取組を展開すること。

## ウ 駅南開発

エリア全体でのマネジメントを意識し、公共施設や商業施設とが連携し合い、賑わいや経済活動の相乗効果を図るために、道の駅、トウショク跡、PicLikePark、i-coreFUCHU、天満屋、再来年のオープンに向けて整備を進める多機能プールを包含した新たな空間づくりを展開すること。

## エ 観光

### ■府中エリア

出口地区の分散型ホテルを核として、古民家移築・改築によって、レストラン・ショッピング・アクティビティなどを誘致し、古くて新しい空間の創出を展開すること。

あわせて、地元住民との連携により、府中ならではの特別な体験やそこに暮らす人々と観光客との交流が生まれるような仕掛けを行うこと。

### ■上下エリア

翁座と来年オープンする上下運動公園芝生グラウンドを中心に、白壁の町並みエリアの回遊性向上、あるいはスポーツ合宿や大会誘致による新たな関係人口創出や地域経済活性化に繋がる検討を行うこと。

## オ その他重点的に取組む事業(別紙)

### (2) 持続可能な行財政運営の推進

#### ア 各部予算における一般財源枠配分方式の導入

限られた財源と人員を有効に活用するため、令和5年度の歳入一般財源見込額を基に、部ごとの歳出一般財源額にかかる要求上限額を定めることで財政調整基金取崩し額の抑制を図ることとする。削減にあたっては、これまでの重点事業も含め、事業見直しを実施すること。

特に、類似している事業や進捗状況の遅れている事業については、改めてその必要性・効果等を検証し、見直すこと。

#### イ サンセット方式の導入

新規事業については原則サンセット方式を導入し、期間内における成果を重視することで、期間終了後は成果に基づく見直しを行うこと。特に、補助金については、全ての補助金に例外なくサンセット方式を適用すること。

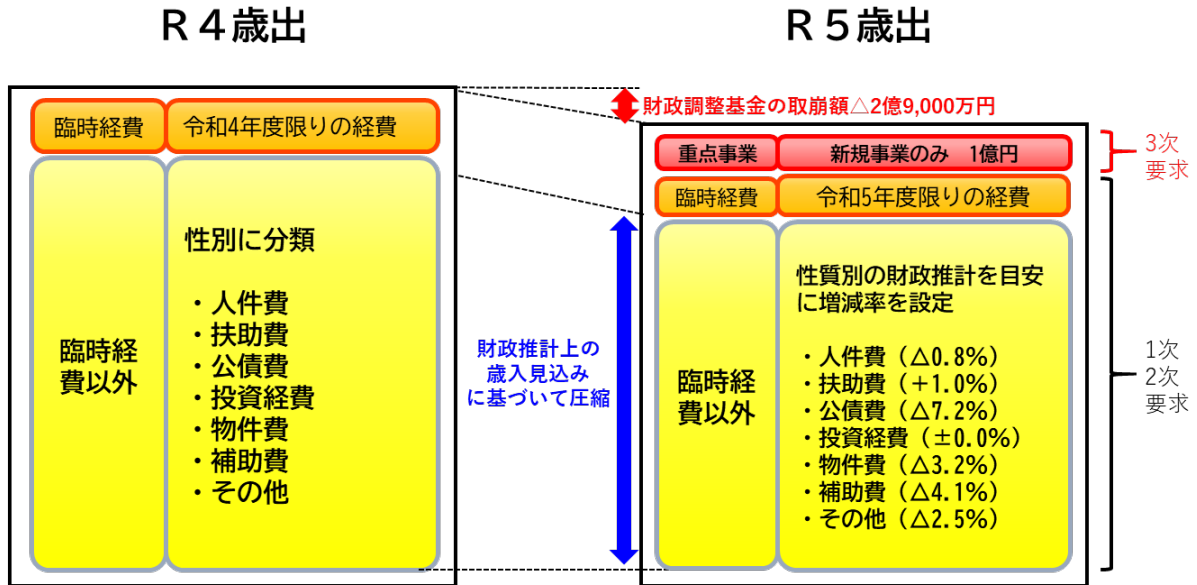
#### ウ 新たな歳入の確保

新規、既存の事業を問わず、新たな国県補助制度の活用、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングなどの民間資金の活用を検討するとともに、未利用資産については貸付や売却の検討を行うこと。

## 2 予算要求の基準

令和5年度の予算要求に向けては、各部において、歳入増、事業選択等の創意工夫に取り組むこととし、当初要求（1次・2次）にかかる一般財源について別途通知する部ごとの基準額の範囲内【厳守】で要求すること。また、重点事業のうち新規事業については政策協議で予算化が認められたもののみ要求（3次）することとし、新規事業以外の重点事業は1次・2次要求に含めること。

### 【一般財源枠配分方式の考え方】



※金額は一般財源ベース

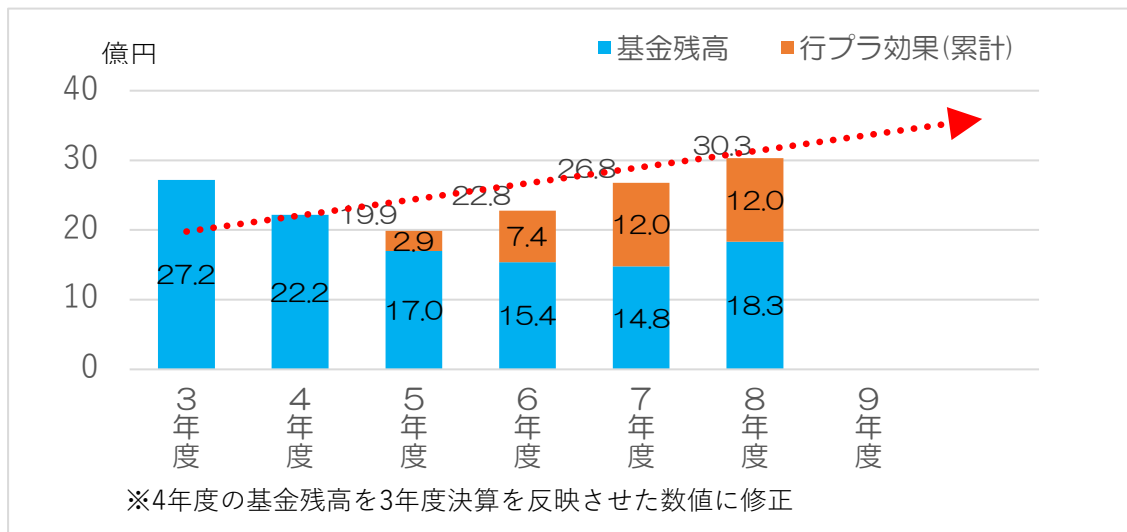
R4 当初予算額 217.8億円  
うち一般財源額 145億円



R5 当初予算額 およそ210億円  
うち一般財源額 142.1億円

一般財源 2.9 億円削減

(参考)財政調整基金の推移 ※財政推計ベース+行政経営プラン効果額



その他重点的に取組む事業

(1) 総合計画基本目標に基づく区分

① 力強い産業

- ア 農業 ～「次世代につなぐ持続可能な農業・農村の確立」を将来像とした農業振興ビジョンの実行
  - ・6次産業化、スマート農業
- イ 林業
  - ・適切な森林管理（カーボンニュートラルとの関連）
  - ・森林環境税（R6年度～国税）をきっかけとしたムーブメント発動（使途特定）
- ウ 中小企業のビジネス振興
  - ・生産管理システムの導入など合理化に向けた取組支援を行い、付加価値の高い製品開発や生産性向上を推進
- エ 労働力確保
  - ・生産年齢人口減少に伴う労働力不足への対策（潜在的労働力の掘り起こし、多文化共生の視点による外国人労働者の受入・生活環境向上など）

② ひと・つながり

- ア AI子どもの予防的見守り
  - ・AIシステムを軸とした予防的要対協
- イ 教育の強化
  - ・学びの充実（GIGAが本格的活用フェーズに入らる中での効果的な活用を通じた教育の充実）
  - ・児童生徒をはじめとした学校現場のウェルビーイング
  - ・LAFの強化・学力向上

③ 活気・賑わい

- ア 点在する観光施設を総合した新たなブランディング化
  - ・河佐・協和の開発
  - ・その他、観光振興ビジョンの実現に向けて
- イ 最適な生活交通の在り方
  - ・存続に向けたJR利便性向上～利用促進
  - ・ぐるっとバス利用促進による市民の利便性享受（例：無料化【社会実験】）
  - ・効率的な交通環境に向けた検討（次世代交通サービス）
- ウ スポーツ
  - ・健康づくり・フレイル予防などに資する仕組みづくり（スポーツ拠点としての多機能市民プール・上下運動公園芝生グラウンド活用）

④ 安全安心が持続

- ア 地域協働のまちづくり
  - ・持続可能なコミュニティの形成・立て直しに向けた地域特性を踏まえたきめ細かな支援（実行体制の整理）

イ ふらっと上下の回転

- ・一連効果検証（小さな実験室として行政運営上のヒントに）
- ・上下支所との住み分けとマッチング

ウ 内水浸水対策事業

- ・平成30年7月豪雨、令和2年7月豪雨を受けての浸水改善対策の検討

エ 老朽化した高台団地の交通手段確保等

- ・住み続けられる地域づくりのための買物支援、高齢者支援、移住促進、日用品が購入できる店舗の誘致をはじめとした総合的な活性化対策

オ 受診検診離れ対策、湯が丘病院改築

⑤ ICT都市ふちゅう

ア マイナンバーカード活用

- ・健康事業、町会活動、ボランティア活動などの住民活動参加を対象
- ・地域協働、孤立防止など福祉面への波及効果

イ 市民生活DX

- ・総合窓口サービスの運用  
⇒業務効率化と市民の満足度向上の双方実現  
⇒垣根を超えた組織体制づくり、職員の育成（総合的な内容に幅広い対応）

(2) その他魅力を高めて価値を生み出す個別取組

① カーボンニュートラル

- ・分散型エネルギーシステムなどの地産地消の取組促進（～地域経済活性化）
- ・省エネへの体質転換
- ・輸送交通・交通体系・グリーンモビリティなど

② デジタル人材育成・就業コーディネイト

- ・自宅ワーク（他エリアからの人材確保、離職回避、全体へのリテラシー醸成～）

③ G7

- ・府中市の食文化、伝統技術、豊かな自然、歴史など本市が持つ多彩な魅力を全世界に向けて積極的に発信
- ・一過性とせず、次への発展が期待できる施策展開へ

④ シティプロモーション

- ・VチューバーなどZ世代に訴求するツールを使ったシティプロモーション
- ・市政70周年（R6.3.31～周年行事展開）